

第九十八回 日本医史学会 総会 演題目次

特別講演 I

日中医薬文化交流史―博多を窓口として……………小曾戸 洋……………(6)

特別講演 II

九州大学医学部誕生と関連医史学資料について……………曾田 豊……………(23)

特別講演 III

福岡地方の二千年の医学の歴史……………奥村 武……………(32)

一般口演

- 1 中国伝統医学と道教(第十八回) 『水滸伝』から……………吉元 昭治……………(46)
- 2 『法華経』にみる医療……………杉田 暉道……………(48)
- 3 宋板傷寒論の三陰三陽篇の成立について―異本との条文比較による検討―……………牧角 和宏……………(50)
- 4 『内経』「真」字考……………宮川 浩也……………(52)
- 5 北宋官刻医書の民間への流通……………陳 捷・小曾戸 洋……………(54)
- 6 日本の精神病学における遺伝学的研究の歴史(その一)……………岡田 靖雄……………(56)
- 7 川原汎とその著『内科彙講―神経係統篇』―刊行百年を記念して……………高橋 昭……………(58)
- 8 「田原結節の発見者 田原淳」補遺……………富田 達夫……………(60)
- 9 日本における近代外科と麻酔(一)―虫垂の解剖学的認識と虫垂炎の病理、早期虫切への過程……………藤田 俊夫……………(62)
- 10 医史学教育の現状アンケートから……………大村 敏郎……………(64)

11	明治の軍医部出仕官について……………	黒澤嘉幸……………(66)
12	明治三十七・八年戦役「熊本予備病院外科治験記事」に就いて……………	田代逸郎……………(68)
13	日本外科学会の濫觴……………	佐藤裕……………(70)
14	順天堂院長 佐藤進のベルリンからの手紙……………	酒井シヅ……………(72)
15	中川修亭の「麻薬考」の書誌学的研究……………	松木明知……………(74)
16	戦時下における医事雑誌の統合廃止……………	寺畑喜朔……………(76)
17	「看護」という言葉の使用のはじめ(第二報) — 平野重誠「病家須知」と看護 —……………	平尾真智子……………(78)
18	眼科医療器械発達史 — 屈折及び眼底検査器械から —……………	奥沢康正・野中杏一郎……………(80)
19	済生学舎の女子医学教育及びその周辺……………	唐沢信安……………(82)
20	明治女医史の基礎的研究(二) 「女医論」について……………	三崎裕子……………(84)
21	初期の九大皮膚科と旭憲吉教授……………	長門谷洋治・坂上俊之……………(86)
22	開拓使および札幌県における医術開業免状について……………	島田保久・長瀬清・横田一郎・菊田道彦・福井卓治・吉田信……………(88)
23	明治初期における広島県立病院の役割と病院長たち……………	江川義雄……………(90)
24	日本及び中国の脳解剖の先駆者 — 河口信任と王清任……………	邵沛……………(92)
25	上皮の概念の成立に果たしたヘレンとケリカーの役割……………	藤田尚男……………(94)
26	江戸時代の馬の内臓解剖図と解剖記述について……………	松尾信一……………(96)
27	新資料「美人解剖図」と「刑死者解体図」……………	和田和代史……………(98)
28	『崎館箋臆』について — 清医の胡兆新と幕府医官との筆談について……………	郭秀梅……………(100)
29	宮内庁書陵部所蔵、中国第一の針灸証治図説『針灸捷徑』……………	王鉄策……………(102)

- 30 「楞雜集」における口腔部門の研究……………戸出一郎……………(104)
- 31 『寿域神方』の瀉血療法……………友部 和弘・王 鉄策・小曾戸 洋……………(106)
- 32 居延漢簡に見る疾病と傷寒の概念……………猪飼祥夫……………(108)
- 33 敦煌文書O・六一三(露)とP・三二八七(仏)の合致……………荒尾敏雄……………(100)
- 34 浅井貞庵と尾張の本草学……………遠藤正治……………(112)
- 35 貝原益軒著『大和本草』記載のミイラの薬効について……………江頭 啓介・原 敬二郎……………(114)
- 36 『養生訓』(貝原益軒著)に示された医師になるために読むべき書について
(併せて現代の漢方医学教育について)……………原 敬二郎……………(116)
- 37 江戸期本草家の北陸への関心(一) 山本溪山の能登半島・立山採薬紀行……………正橋 剛二……………(118)
- 38 新発見の『啓迪集』古鈔本……………真柳 誠・矢数 道明……………(120)
- 39 田代三喜の新発見の医書『酬医頓得』の意義……………遠藤 次郎・中村 輝子・奈倉 道治……………(122)
- 40 小島宝素・海保漁村の天保十三年の京都訪書行について……………町 泉寿郎……………(124)
- 41 亀井南冥著『病因備考』について(特に後藤良山著『病因考』との関連)……………木下 勤……………(126)
- 42 『解体新書』の原著者J・A・クルムスについて新史料……………石田 純郎……………(128)
- 43 ベレッティーニ解剖図譜における自律神経系……………レジス・オルリー・本宮かをる……………(130)
- 44 福岡・原三信氏家蔵『阿蘭陀外科術式図譜絵巻』についての考察……………蒲原 宏……………(132)
- 45 「レメリン解剖図」と「原三信解剖図」について……………原 三信・原 寛……………(134)
- 46 赤城信一について(第二報)……………上田 智夫・小竹 英夫・宮下 舜一・吉田 信……………(136)
- 47 江戸幕府御典医関東船橋氏の略史……………奥 富敬之……………(138)
- 48 『盲聾記』の記事から―戦国時代の医師の日記……………水谷 惟紗久……………(140)

- 49 幕末期の院内銀山「お抱え医」の実態―「門屋養安日記」にみる庶民の医療(二)…………… 助 昭三……………(142)
- 50 乗附氏家系と乗附流産科…………… 石 原 力……………(144)
- 51 モーゼス・マイモニデスの生涯…………… 泉 彪之助……………(146)
- 52 リヨンにおける医学小史(二)―クロード・ベルナル博物館―…………… 小 林 晶……………(148)
- 53 ワードロップ「瀉血について」一八三五…………… 藤 倉 一 郎……………(150)
- 54 アラブ医学で用いられている蒸露剤の他地域への伝播…………… 中村 輝子・遠藤 次郎・海保 房夫……………(152)
- 55 フランス軍陣医学におけるヴァル・ドゥ・グラース病院の役割…………… 今 泉 孝……………(154)
- 56 ウイリアム・ウイリスと写真師 島霞谷…………… 中 西 淳 朗……………(156)
- 57 適塾の塾頭松下元芳(筑後久留米藩医)の紹介…………… 中 山 茂 春……………(158)
- 58 緒方洪庵訳『扶氏経験遺訓』での疑問…………… 津 下 健 哉……………(160)
- 59 一九〇〇年以降の日本におけるプロテスタント・ミッションの医療伝道…………… 高 安 伸 子……………(162)
- 60 緒方春朔『種痘必順辨』の書名について…………… 富田英壽・手島 仁・熊本熙史・久賀興亜・田中泰博・久賀征哉・武井一剛……………(164)
- 61 お玉が池種痘所の設立に参加した上山藩医奥山玄仲…………… 深 瀬 泰 旦……………(166)
- 62 近代検徴制度の導入と英国「伝染病予防法」―外務省資料・英国国立公文書館資料を中心に―…………… 大 川 由 美……………(168)
- 63 生体実験による結核予防法の確立…………… 美馬 聰昭・国中るみ子……………(170)
- 64 明治十八年(一八八五)における本邦の初期の細菌学培養について…………… 会 田 恵……………(172)

発表日時

特別講演Ⅰ・一般口演1、33

平成九年一〇月一〇日(金)

特別講演Ⅱ・Ⅲ・一般口演34、64

一〇月一日(土)

〈本号の表紙絵〉

第5回九州沖縄八県連合共進会々場の図

この錦絵は明治20年、福岡市制施行の前年、博多東中洲の県立福岡病院の南側の地に開催された第5回九州沖縄八県連合共進会々場の光景で、赤レンガ造りの福岡くらぶと共進館の2つの主要建物がある。福岡くらぶは磯野七平が発願し建築し、共進会終了後、東京の鹿鳴館のような社交場として使用され、共進館はパーティーや会議場となり、京都帝国大学福岡医科大学の第1回卒業生の祝賀会場となったところ。

この錦絵は共進会の観光用として福岡橋口町の吉松惣之助編輯、出版したもので、図柄が福岡市博物館蔵と福田量蔵の2通りがある。錦絵の左側に県立福岡病院（九大病院の前身）の2階建病棟が見え、右側の川岸は福岡藩の化学研究所とも云うべき『精煉所址』である。

東中洲を第1会場とした共進会は、第2会場として千代の松原の崇福寺境内に『福岡博物展覧会』を開催した。展示物は、郷土の美術品、福岡・博多の地より出土した古器物（考古学的出土品）。県立福岡病院より出品された帝王切開による摘出した子宮及び卵巣・無骨胎児・乳癌の標本。心尖搏動検索器、胸廓伸縮測定器、プレチスモグラフ、皮膚病図104枚、紙製人骨全体、人骨写真一折などや長崎県庁を通じて借り出した博物標本など多くを展示した。この医学博覧会とも云える福岡博物展覧会を企画したのは、幕末、長崎に留学した磯野慶直の次男、磯野七平で私財をもって開催し、福岡くらぶの建築にも私財を惜しまなかった。七平は後、福岡市長となる。

（奥村 武）